



第3回整備事業者
AWARD 2024

第3回 整備事業者アワード2024特集

画期的な挑戦、地道な取り組みに光

「イノベーション」「経営改善」「社会貢献」

大賞は「車検・**钣金デポ**」

日刊自動車新聞社は、整備事業者を対象とした表彰制度「第3回整備事業者アワード2024」の表彰式を4月18日、芝パークホテル（東京都港区）で開催した。「イノベーション」「経営改善」「社会貢献」「3領域それぞれにエントリーした53社の中から特色ある取り組みを実践している日社を選出し、内容に応じたテーマ賞を設定して表彰した。すべての領域を対象とする「日刊自動車新聞社大賞」には、車検・飯金デポ（上松禎知社長、千葉県浦安市）を選出した。

特色ある11社を選出

整備事業者の役割は、整備業界のさらなる活性化を旨とし、自動車整備事業者の経営手腕に光を当てた取り組みを表彰するもの、事業構造の変革による新たな需要の掘り起こしに成功した事例など、整備事業者が携わっている経営者や整備士、ジャーナリスト、教育者などを招請し、より幅広い知見と視点で整備事業者の取り組みを評価した。各領域の受賞企業数はイン



バーション領域から3社の経営改組領域から5社、社会貢献領域から3社の計画となつた。受賞資金が大賞に選出されたイノベーション領域では、20年4月の特定整備制度の施行から本格化している先進駆逐支援シグテム(ADA)などのエーシング(機能調整)作業を促しめする電子制御装置整備への対応と、業務のデジタルトレーサビリティフォーメーション(DX)、専門性強化などのテーマ賞を設定した。大賞の車検、飯金サポートは、高品質技術力を高める取り組み

多岐の取り組みが社会貢献と営業の取り組みが受賞準備事業者と交通事業者の安心や安全を支えていることの、整備を通じて社会が受ける貢献活動が評価された。地域に根差した経営を自指した整備事業者からこそ、実践できる継続的な取り組みが見られた。

自動車産業は、100年に一度の大変革期を迎えた。今後はCASE(ネクテック)で、自動運転、シェアリング、電動化に代表される市場環境の大幅な変化が予想されており、整備制度の移行も同じく、特定整備制度を廃止し、整備業務も同じく、電動化技術など進化する自動車技術、高度化する自動車技術への対応、迫られる。人口減少に伴い、人手不足や自動車保有数の減少が見込みなど市場環境の変化も前提となる。こうした環境が変化する中では、整備事業者アワードの受賞者のように、先を見据えた事業展開が生き残りには必須になる。

や新たな技術を学ぶ探求心、SNS（会員制交流サイト）での発信力などが総合的に評価された。

営改善領域では、社員満足（ES）向上や組織改善、事業承継、人材育成をテーマに設定した。審査委員長を務めた須田義大・東京大学生産技術研究所教授は表彰式の講演で、「経営改善領域への応募が非常に多く、受賞企業数も多くなっている」とした。整備業界に従事する人々の高齢化が進む一方で、少子化の影響で若い世代の人材確保が難しく、後継者も不足している。人材確保・定着は技術と並ぶ整備業界の最重要テーマになっている。

やダイバーシティ組み、交通安全啓発の一環として交通安全の安心や安全を支えていくことのみならず、整備を通じた社会貢献活動が評価を受けた。地域に根差した経営を目指して、整備事業者はたからこそ、実践できる継続的な取り組みが見られた。

自動車産業は「100年に1度の大変革期」を迎えた。今後もCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）に代表される市場環境の大幅な変化が予想されており、整備業界も同じく、特定整備制度への移行をはじめ、電動化技術への進化は

する自動車技術、高度化する自動事業技術への対応に迫られて、整備技術への対応に迫られて、人口減少に伴う、人手不足や自動車保有台数の減少見込みなど市場環境の変化も前提となる。こうした環境が変化する中で、整備事業者アワードの受賞各社のように先を見据えた事業展開が生き残りに必須になる。

さらなる進化の一助に

業界発展に
つながれば

日刊自動車新聞社 花井 真紀子社長

整備事業者のフィードバック、ス
ポンサーの皆さまをはじめ、委員の皆さま、整備事業者の
皆さまに支えていただき、3
ます。日ごろの取材活動など

でさまざまな課題をお聞きしておりますが、そうした課題を乗り越え、さらに進化を遂げていただくことが、自動車産業の発展にもつながると信じております。

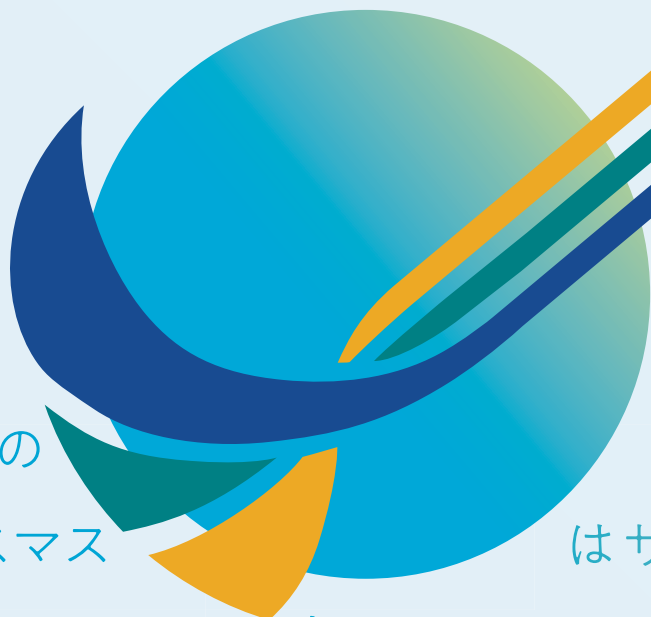
自動車ユーザーの安心と安全を守る自動車整備業界の存在は、自動車産業がどこまで発展していくか、この表章制度は、整備事業者の皆さまのご参考となる、素晴らしい経営手法を広くご紹介させていただくことを通

しまして、お役立ちできねば、という思いから立ち上げさせていたきました。今回までの3回で40社の皆さまを表彰させていただくことになりました。

今年、日刊自動車新聞は創刊95周年を迎えることができました。これを機に、この表彰制度をさらに皆さまのお役に立つものへと発展させる一歩を踏み出す構想を進めております。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。心より申し上げます。

SMASS 移動革命

次世代モビリティの最適解で、ビジネスを加速、拡大する。



エスマスはサステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーマー。直面するサステナビリティの課題をEVワンストップサービスで解決。MaaSアプリで社員の移動をまるごと管理。クルマの手配、出張、アルコールチェックなど、あらゆる移動の課題を、便利と安全をしっかりとサポート。グローバルなサービスで海外進出もお任せ。モビリティの課題を、業務のスムーズな運用へ。そして、DX、コスト削減など、あらゆるビジネス課題を解決。これからのモビリティ社会へ、一歩先のソリューションを。エスマスはサステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーマー。直面するサステナビリティの課題をEVワンストップサービスで解決。MaaSアプリで社員の移動をまるごと管理。

できます。できます。SMASで、できます。





その声を安心に変えて。

補償範囲を見直してほしいというリクエスト。
規約がわかりづらいといった、ご指摘。
毎日、お客さま一人ひとりの声に全力で耳を傾ける。
毎日、いただいた声を元に保険を見直し続ける。
そうやって、私たちが向き合っているのは、
目の前のお客さまの安心だけではなく、
未来のお客さまの安心でもある。
これからも、ずっと。
お客さまの声に向き合い、進化をつづけていく。



▼特設サイトはこちら



損害保険ジャパン株式会社
https://www.sompo-japan.co.jp/

損保ジャパン



話せるドライブレコーダー。

こんにちは、三井住友海上の「プレドラ」です。
事故の時はもちろん、困った時はいつでも
つながります。まるでドライブレコーダーの中に
保険会社があるような安心感をあなたに。

先進機能とつながる安心。プレドラ。

360°^{※1}業界初の
360°撮影!

車面の側方と後方まで録画可能。
また眠気やわき見運転等も検知し、
安全運転をサポート。

24h^{※2}いつでも
通報可能!

一定以上の衝撃検知時の緊急
通報に加え、故障・トラブル時も
緊急通報ボタンから、いつでも専用
安否確認デスクへ通報できます。

駐車中も
安心!

駐車中の衝撃検知時も録画可能!
駐車中であて逃げ被害等にも安心
です。



MS&AD
三井住友海上

見るクルマの保険
プレミアムドラレコ型

※1 自動車保険業界において同様に提供されているドライブレコーダーと比較したものです。(2022年1月時点・当社調べ) ※2 イメージ画像であり、走行中に録画画像は画面に表示されません。

地域貢献賞

中根モータース(岐阜県土岐市)

社会貢献領域



美濃焼の窯元が集まる土岐市駄知町。中根モータースは、1958年に駄知タイハツ販売所として創業して以来、60年以上にわたって、自動車の販売、整備、保険の取り扱いを通じて顧客とクルマに関わるニーズに対応してきた。心がけているのは、人に幸せをもたらす新しい技術や商品に対する研さんを怠らず、人間の力に磨きをかけて、期待を裏切らないこと。「昨日より今日、今日より明日が少しでも幸せを多く感じられる」行動を心がける。

同社では新入育成と地域貢献を目的に、レストアした車両を展示する「駄知旧車館」を2012年に開設した。レストアは新人や若手社員が練習教材として自由に作業ができる。

旧車のレストア通じ技術継承

「クルマ屋さんしかできない、クルマ屋さんだからこそできる社会貢献の姿がここにあって、本業の延長線上での取り組みは業界の手に伝わる」と感じる。

若手社員の練習というきっかけからクルマと触れるエンジニアとしての仕事に対するベネチア向上にも役立て、地元の方注目されることで社員のプライドも高まる。

駄知旧車館一つが地域の発展につながるという考えは思いつかなかった。今後の販路やレンタルなどの広がりにも期待したい。地元だけでなく、国際的な事業など新たな展開も期待できる。

ついても注目されている。レストアを通して板金塗装技術を伝承し、技術力向上だけでなく、車の価値や楽しさ、興味を持たせることに役立っているという。また、これらの活動が評判となり、若者からの入社希望が増えた。今後はレストア車両の販売やリース、レンタルなども検討しつつ、事故修理に依存しない事業展開も考えていく考えを示す。中根社長は「自動車業界、地域に感謝し恩返しをしたい」と考えている。

事業承継賞

石泰商会(愛知県西尾市)

経営改善領域



石泰商会では2021年、具体的には①ルールを明確にする、②業務の把握や納得感、モチベーション向上に役立っている。また、過去5年間の整備部門の実績を管理表として可視化。売り上げと台数目標を設定し、目標達成時の業績加給制度を設けるなど、待遇改善にも役立っている。

若手社員が入社して1年、社内には活気があふれ、コミュニケーションは活性化。顧客から求められることも増えたという。今後注力していくのは採用活動だ。行動指針や評価制度、キャリアパスの明確化などをアピルしていく。

若手中心の経営改革で社内が一変

「若手社員が中心となって、会社を中心にメンバーとなり、古参社員の方との相乗効果が始めていることに感激した。また、三人同時に受け入れたことを決断した社長も素晴らしい」と感じる。

若手が安易に世代間を埋める取り組みはなかなかない。自動車整備業界全体を変えていく可能性を秘める。

確にすることで、課題の把握や納得感、モチベーション向上に役立っている。また、過去5年間の整備部門の実績を管理表として可視化。売り上げと台数目標を設定し、目標達成時の業績加給制度を設けるなど、待遇改善にも役立っている。

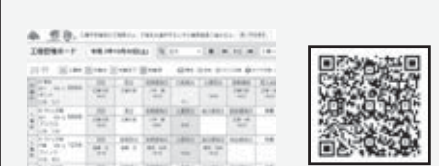
～自動車整備・钣金支援システムのタジマ～

クルマの未来、まっすぐサポート。

整備・钣金事業者様の業務をサポートするサービスが充実!



クラウド型 車検・点検支援システム スーパー検査員



記録簿に記入するような感覚で点検項目の入力ができ、作業指示書・指定整備記録簿を自動作成できます。入力チェック機能・保安基準チェック機能で「記載モレやミス」を解消し、二重・三重チェックの手間や精神的負担を大幅に軽減します。監査に対しても自信をもって対応できます。

最新機能とデザインで 集客力とブランディング強化! BLHomepage プレミアム



直感で操作できるCMSが搭載されたホームページサービス。ホームページ開設に必要な材料が全てセットになっており、難しい知識は必要なし!簡単に編集が可能です。BLHomepageプレミアムでは基本機能としてSSL対応が行われているのでセキュリティも万全です。

電子帳簿保存法対応ソリューション 電帳.DX



電帳.DXは、電子取引を行った契約書、請求書、見積書、領収書などの取引関係書類(電子帳票)の電子保存が簡単にできるシステムです。

■電帳.DXの特長

- ①保存・登録が簡単
- ②検索・閲覧が明瞭
- ③システム連携で正確に保存



株式会社タジマ
東京都品川区東品川 4-13-14 グラスキューブ品川(受付 8F)
TEL: 0120-66-0911

https://www.tjk.co.jp/

株式会社タジマ



ブロードリーフの 整備クラウド

IT導入補助金 最大2/3補助!!

OBD検査対象車両抽出機能!!

サブスクなのでリース契約は不要

必要な機能を必要に応じてご利用頂けます

最短3分「料金シミュレーション」はこちら→



お問合せは
こちら



株式会社ブロードリーフ

コミュニケーション
デザイン課

TEL: 0120-47-2610

営業時間 平日 9:00 ~ 17:30

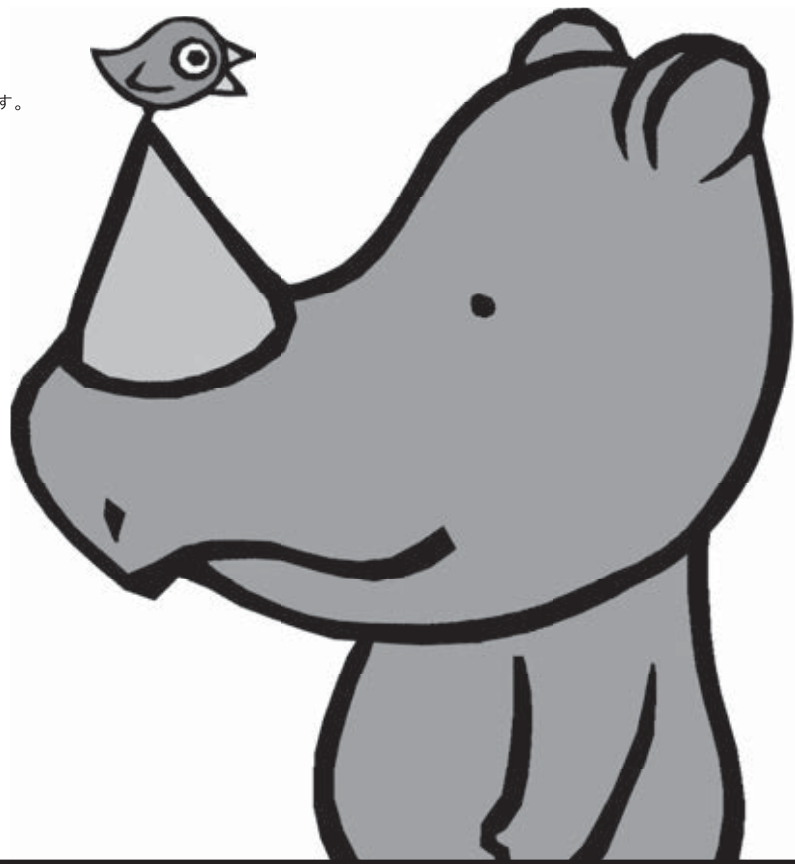


領域	部門	事業者名
イノベーション領域	日刊自動車新聞社大賞 先端整備	車検・钣金デポ
	DX(デジタルトランスフォーメーション)	柴田自動車
	専門性強化	久松自動車販売
経営改善領域	ES(社員満足)向上	オートガレージ
	人材育成	ウイン
	組織改革	定光钣金
	事業承継	EURO CARS
	地域貢献	石泰商会
社会貢献領域	ダイバーシティ・チャレンジ	中根モータース
		特定非営利活動法人 ニルスの会 D.Factory
	交通安全啓発	ナオイオート

一緒にずっと。
安心をもっと。

いつもそばで、みんなの暮らしを見守ること。
いつまでも、みんなが笑顔で暮らせるように、
心からの安心をお届けし続けること。
それが、わたしたち共栄火災の使命です。
あなたが辛い時は、ともに壁を乗り越える。
そして嬉しい時には、一緒に笑いあえる。
そんな、あたたかい保険会社であるために、
いつでもまごころを込めて、暮らしを支えています。

共栄火災



共栄火災海上保険株式会社
〒105-8604 東京都港区新橋1-18-6
<https://www.kyoeikasai.co.jp/>

交通安全啓発賞

ナオイオート(茨城県取手市)

社会貢献領域



高齢者による交通事故が社会問題となる中、クルマがなければ生活が成り立たない、生活に不便が生じるなど、同社店舗があるエリアではクルマは必要不可欠なものとなっている。経営理念の「車を通じて生涯のお付き合い」を実行するうえで、顧客への恩返しの意味も込めた何かができるかという部分から着想を得、65歳以上の顧客に向けて参加費無料で「高齢者向け交通安全セミナー」を2022年11月に取手市で初開催した。

セミナーの内容は①茨城県警の協力による交通安全講話②NPO法人高齢者安全運転支援研究会による認知症予防体操教室③システムを活用した認知機能・脳活動チェック④安全運転シミュレーターによる体験⑤安全運転防止機能付き車両の体験⑥電動カーの体験会などを設定した。来場者からは「来て良かった。ぜひ、来年も実施してほしい」「サボカーに大変興味を持った。今後検討したい」「ナオイさんのお客さまへの想いが伝わった」などの声が上がったという。

その後、同社の店舗があるエリアを4地域に分け、23年6月に筑西市、23年7月に土浦市、23年9月にひたちなか市で開催。これまでの参加者は累計で約300人となった。24年度はさらにエリアでの開催を予定する。

同社ではこの取り組みを通して「OS(顧客満足)」をうたっているが、高齢者の悩みに対応できていなかったことを反省したという。この経験を踏まえ、地元のお客さまに一番愛されるクルマ屋に向けて、さらなる成長を目指していく考えだ。

高齢ドライバーの安全運転に寄与

高齢ドライバーによる事故の増加は大きな社会問題となっている。この課題に正面から取り組むことができるのは、自動車販売と自動車整備業ではないか。規模の大小に関わらず、この取り組みは実行できるだろう。同社にとっても気付きがあり、高齢ドライバーにも気付きをもたらした意義は大きい。自動車屋さんとしてできる取り組みであることが一番の評価ポイント。ユーザーがほしいうれやみを積極的に開催することで地域との接点を築いている点が評価できる。高齢者を中心に地元の家族・床との接点を構築していることは、今後の事業の拡大に大きな可能性が期待できる。

ダイバーシティ・チャレンジ賞

特定非営利活動法人ニルスの会 D.Factory(札幌市東区)

社会貢献領域



2021年6月に北海道初の自動車整備事業に特化した就労継続支援B型事業所として開設した。「地域共生社会の実現」「地域で自立した生活」「地域に根差した医療と福祉の架け橋へ」の三つの柱を理念に活動を推進している。2級自動車整備士資格を持つスタッフが職業指導となり、車が好きだが整備工場が明瞭で、業務には集中して取り組んでいる。非常に意欲的。離職もなく順調に進んでいる。

作業は車検整備作業や12カ月点検作業の手伝い、タイヤ交換やオイル交換、洗車や車内清掃、ホイール磨き、板金作業の手伝い、清掃作業のほか、中古部品販売店の委託を受けたホイールの洗浄などがある。営業日は土日祝日を休日とする。

2021年6月に北海道初の自動車整備事業に特化した就労継続支援B型事業所として開設した。作業時間は午前8時から午後5時。作業時間は午前9時半から午後3時半で、休憩を除き、午前・午後ともに2時間半は作業にあたる。現在は30〜40代を中心に15人が利用する。作業で得た収益は工賃として利用者の給料に反映している。同施設により「利用者」は好きなクルマに触れたいという思いや目標が明確で、業務には集中して取り組んでいる。非常に意欲的。離職もなく順調に進んでいる。

車好きの障がい者に整備士への道

すべての業界において利益だけならば良いという時代は終わった。今後は長期的な企業価値創造のために持続可能な取り組みを講じている企業生き残る時代だ。多様性の中には障がいを持つ人たちも当然含まれており、自動車整備の業界においてもそういった人々を雇って活躍してもらうことが重要だ。障がいを持つ人たちが自動車整備への関わりを促進しているという点、そのような作業をどのように切り分けていくのかについての経験が今後の先行事例として期待できる。離職がないこと、利用者同士が教え合う環境など、仕事へのやりがいや喜びを見つめ直す良い機会をもたらした。

いると手ごたえをみせる。また、利用者同士の交流も活発になつたりあり、仕事を利用者同士が教え合う光景もみられるという。利用者からは「あっという間に(就労時間)が終わった」「1日にきてよかった」などといった声も上がっている。

今後は同施設の就業が実務経験として認められるような働きかけを行い、障がい者が3級自動車整備士資格を取得できるような仕組みを整えていきたいと考えている。



第3回 整備事業者
AWARD2024

AUC 株式会社 アイオーク

ANEST IWATA

ABE SHOKAI

AIR オートクラブ

KANSAI PAINT

JARA
Japan Automotive Recyclers Alliance
株式会社 JARA

LOTAS CLUB

モビリティ
パーツ
TOYOTA

NISSAN
PARTS

NIPPON PAINT CO.,LTD.
Basic & New



自動車メーカーは
我々整備業に
忖度はしない!

自動車を取り巻く大きな変化を考えた時、メーカーはハッキングなどのリスクを最小限にする為に、販売や整備への対策をとるでしょう。我々整備事業者は今のうちに想像力を発揮して自らの生き残り策を考えなくてはなりません。業販はできるのだろうか?中古車販売はできるのだろうか?車検はできるのだろうか?そもそも整備ができるのだろうか?すでに汎用スキマツールの使用範囲が、徐々に狭められていることにお気づきではないでしょうか?

BSサミットはメーカーに認められる
モビリティサービスの全国ネットワークを目指します

BSサミットは、高い技術力と知識、ノウハウを備えた組合員を増やしネットワーク化することで、自動車メーカーが安心してアフターサービスを任せられる全国組織を構築します。そのため、入会基準の対象を車体整備工場から指定整備工場に拡大、車体整備・分解整備という枠を超え、地域のアフターサービス需要をカバーできる体制を整えます。



お問い合わせ先
BSサミット事業協同組合

〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-4 新京橋ビル3階
TEL.03-3538-2900 FAX.03-3538-2901
E-mail: honbu@bs-summit.co.jp